

FUKUCHI

Public
Relations

No.48
December

広報ふくち



特集 ●

招店街

しょう

てん

がい

夢のつまった宝箱のような街へ
こづかいを握りしめ、一目散に駆けていったあのころ――



2009
12

時代は変わった。

わたしたちの生活を変えた。

かつて足繁く通った街が姿を消していく。

車社会、コンビニ、大型店、ニーズの個性化…

商店街を取り巻く環境は厳しさを増し、

全国各地で多くの街がなくなった。

かつて、活況を誇った赤池商店街、

地域を支えた八幡町商店街、

この町にあった2つの街は、ひっそりと姿を消した。

そしていま、町に唯一残る金田商店街にも

下りてしまったシャッターが目立つようになってきた。

人々が心ときめかせ、心をつないできた街…

いつもそこにあるのが当たり前で、

生活の一部であり、地域そのものだった商店街。

その消滅は何を意味するのか。

わたしたちはいま、何を失おうとしているのか。

失ってしまった街は、もう二度と戻らない。

わたしたちの豊かな未来への可能性を閉じないために、

商店街の「あのころ」と「今」を踏まえ

街の「これから」へとつないでいく——

招店街

特集○

—つなぐ、つながる。—
街のあのころ、今、これから。

金田銀座と 呼ばれた街

風呂敷包みひとつで

金田駅の表玄関として本町筋に沿うように東西へ延びていった金田商店街。田川地区初の鉄道開通と空前の炭鉱景気で、のどかな田園風景は、瞬く間に物流の一大供給地へと姿を変えていきました。この明治26年2月の金田駅開業によって、地元の炭鉱景気は急上昇。炭鉱資材の積み卸し、石炭の積み込みをはじめ

め、坑内員の生活を満たすための需要が急増し、金田駅付近には大量輸送に対応するための倉庫が立ち並びました。今から110年ほど昔、明治30年ごろの金田駅周辺には、一軒、また一軒と商店が軒を連ね、やがて筑豊屈指の商店街が姿を現していきます。大分方面からは海産物、広島・京都方面からは呉服類、筑後方面からは米や酒などを携えた多くの商人が、風呂敷包みひとつ

ここで生きていこうと店を構えた。何もなかった場所に街が生まれた。物流・経済の中心地となった金田。物が流れ人々が行き交う商店街は想像以上の活気に満ちていた。

で金田に集まりました。ここで、創業者たちの多くは、足を棒にしながら行商をし、財を蓄え、未来への望みをかけて店舗を構えたといえます。

炭鉱に携わる人たちが買い物客が足早に行き交う活気に満ちた金田。そのにぎわいは、商いをする人にとって何物にも勝る魅力で、当時の金田は伊田や後藤寺をはるかに凌ぐ将来性を備えた街として「金田銀座」と呼ばれました。

初代桑野武平氏が明治44年の敷島座に続いて大正9年に新築した大和館。活動写真（無声映画）が上映され、当初は弁士という専門家が映画を解説。映像と客席との間に生き生きとした空間が存在した。

明治40年代、出炭量の増加により、主要線路から多くの支線が引かれた。三菱方城、明治赤池、豊國糸田、大熊金田、黒尾金谷などの炭鉱、そして駅とともに、商店街は繁栄と拡張を重ねていく。



ゆうき衣料品店
結城千秋さん
(金田 敷島町)

●interview

金田に来た時、あまりのにぎやかさに気後れました。炭鉱景気で人が道にあふれ、外に出られない時もあったほどです。店頭で戸板を置いて商品を並べると瞬く間に完売。忙しかったけど楽しい時代でした。

奉仕市発祥の地

大正2年、将来への展望を示すかのように、金田商店街の一角に明々と電灯が灯りました。その翌年の大正3年には商店数が350軒にも達します。このころ、金田駅と商店街を中心に、県道などの主要道路が東西南北へと発達。大正11年には宝見橋が架設され、早くも現在のような交通網が形成されたのです。

当時、庶民の最大の娯楽だった映画。その千人規模の収容力を誇る上映館「敷島座」と「大和館」が商店街に館を構え、人気映画の際には、チケットを求める人の列が、金田小学校付近まで100m以上も伸びたといえます。商店街の灯は夜の上映が終わり、最終列車が出るまで消えることはありませんでした。繁華街を形成した敷島町は、夜のとりやが降りるころから明け方まで、不夜城



昭和初期、金田駅前には旅館が6軒あり、30年代まで大阪・京都・富山などの商人がここを定宿にして、筑豊での営業に回った。金田駅の玄関口から見た和と洋を感じさせる正面の建物は1階が歯科、2階がダンスホールというモダンな造り。

新町1丁目にあつた料亭「菊の屋」は、庭園に滝や築山が配置され、田川地区で一番の高級料亭と噂されました。立派な正門前には高級車が横付けされ、100畳敷きの大広間では連日のように宴が催されていたといえます。

金田魚市場からは威勢のいい声が響き、多種にわたる行商では、塩の売り子や富山の薬売りも荷を背負って街中を回っていました。

このように、今では想像もつかない活況をみせた創業時の金田商店街は、訪れる人を快く迎える気風とともに、やがて「お客様第二」の精神をはぐくんできています。



当時、日常の風景だった「黒い鉄の壁」のように連なる貨車の姿も、今は見るできない。

金田商店街誕生の礎

駅と鉄道の歩み

直方—金田間に続き、明治32年には金田—伊田間に鉄道が開通。最盛期には石炭を積載した50両もの貨物列車が通過し、金田の沿線は特異な風景を見せました。そんな鉄道もエネルギー革命による石炭産業の崩壊と自家用車の普及とともに、昭和30年代から衰退の一途をたどります。やがて赤字ローカル線となり、一時は廃線の危機に直面しますが、地域を挙げて必要性を訴え続け、ついに平成元年、現在の平成筑豊鉄道が誕生。120年という長い歴史のレールを駆け抜けた地域の鉄道は、今日も福智の沿線走り続けています。



「食料品のはやし」の店員のみなさん、住み込みで働いている人も多かった。



沿道からの拍手喝さいが聞こえてきそうな秋祭りの様子、仮装行列は「キツネの嫁入り」。

戦後間もない商店街で、落胆する雰囲気を消す原動力となったネオンの輝き。新町通りは、それぞれの店による電飾に彩られ、次第に活気を取り戻していった。車のない時代は、列車の乗車待ちの人たちが夜遅くまでにざわいを見せた。



子どもたちの歓声が響いた街並み。



街のイベント全音
心をつなぐ
街が舞台の催し物

昔から催し物を大切にしてきた金田商店街。昭和41年には金田町制50周年記念の祝賀イベントの舞台になりました。昭和51年の夏に始まった「カナダフェスタ」もその気風を受け継ぐイベントの一つ。当初は5日間の「夜市」として開催され、お買い得商品を求めて集まる人出で連日大盛況。工夫と努力を重ねて培ってきた手づくり行事は、回を重ねるにつれ内容も多彩になり、街の夏の風物詩となっていきました。



子どもの楽しみのひとつ、紙芝居。カチカチという拍子木の音に誘われて、昨日の続きを見ようとみんなが集まってきた。5円で買った水あめをなめるのを忘れてしまうほど、おじさんの名調子に夢中だった。



45年前、誰もがやったポーズ。



銭湯から案内が届く。各家庭にお風呂がなかったころは大衆浴場もふれあいの場に。

子どもたちはよく親の仕事を手伝い、家族はいつも同じ空間で過ごした。



商品を配送した当時話題のバイク

人と街との絆

底力 | 商店街が積み上げてきた宝物

肩を寄せ合い、助け合いながら戦後の再興を果たした商店街。物は少なく不便だったけれど、心はいつも満たされていた。強い絆とつながりがそこにあった。

光で取り戻した輝き

「売るものがない」「食券や衣料券がないと物を買えない」。そんな戦時中の昭和初期、物資不足で食べるものも着るものも少なく、十分な品ぞろえもできずに閉店してしまう店が次々と出てきました。逆に、国のエネルギーを産出する炭鉱では人手が足りなくなり、商売をやめて入坑していく人も少なくありませんでした。やがて金田商店街は、戦争によってその機能を失ったまま、終戦をむかえます。

昭和28年、戦後の再開をめざす金田商店街に、さらなる苦難が押し寄せました。地元の三菱金田炭鉱が閉山、続いて竹本坑、神崎坑と相次いで閉山し、周辺人口が著しく流出。売上減少のダメージをまともに受け、各商店は再開の出足を大きくくじられるかたちとなっていました。

このピンチを乗り切るためにどうしたらいいか……。考えた末、金田商店街が出した答えは「客と店を元気にするため

の演出」でした。商況挽回のため、新町通りの600mの街筋にネオン街を浮かび上がらせ、自らと人々を活気づけたのです。それぞれの商店が特色を生かしたネオンを取り付け、街と人の心を優しく照らしました。なかには京都大橋に傘をさした舞妓さんのデザインが道幅をまたぎ、向かいの軒まで借りるほどの大きなネオンも現れ、見る人の心を奪ったといえます。やがて映画館の前には、飲食店、菓子店、カフェなどが建ち並ぶようになり、パチンコ店も10数軒を超えるまでになりました。

こうして、戦中戦後の厳しい時代を耐え抜いた金田商店街は、光で街を輝かせ、再び活気を取り戻すことに成功したのです。

何より大切にしてきたもの

商店街が利益より大切にしてきたもの。それは、店と客という絆を越えた人と人との「つながり」でした。冠婚葬祭の手伝いをはじめ、世話やしつけ、お世つかいまで「親せき以上の付き合い」がありました。商店街には、客の子でも本気で褒めて叱ることができた大人が当たり前のようだったのです。

そのような、あたたかく見守られる雰囲気の中で、いつも日が暮れるまで元気に遊んでいた子どもたち。みんな、心ときめく商店街というステージで、生きる力や社会性を培っていきました。決して直接の利益にはならないけれど、金

田商店街は、そんな「つながり」を大切にしてきたのです。

また一方で、七夕祭りや仮装行列、秋祭りでの山笠競走など、人と地域が楽しめ、街が一体になれる催しにも情熱をそそいできました。

貧しくて不便だったけれど、明るい未来を信じて、肩を寄せ合い、助け合いながら生きてきた戦後の昭和。「これから先はきつと良いことがある」そんな期待に満ちていました。物が豊富で便利になった今に比べ、幸せが実感できた時代、生きる手ごたえがあった時代と言ってもいいでしょう。

たくましさや人の情にあふれ、底抜けの明るさとバイタリティー（活力）で苦境を乗り越えてきた金田商店街。「つながり」を最も大切にしてきた街のあたたかい心は、今も昔も変わることはありません。

● interview

ただ食料品を売るだけでなく、その食材を使ったおいしい調理法を教えるなどのやりとりもお客様にたいへん喜ばれましたね。とにかく商いは正直に、ウソをついて売するような商売は、一切しませんでしたよ。



「林食料品店」初代 竹崎昇造さん (金田人見)



三菱方城炭鉱をそばで支えた八幡町商店街。昭和44年の閉山で旧方城町の人口は半減。その後、商店街の機能も失われてしまった。

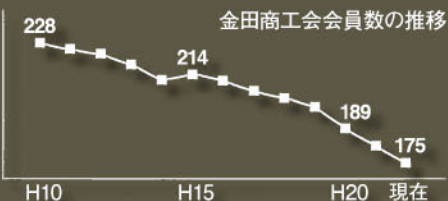
商店街が無くなる時

年を追うごとに下りたシャッターが目立つようになり、そんな風景に人足はさらに遠のいてしまう。やがて商店街はシャッター通りとなり、気がつけばその姿を消していた。このように、かつて日常で身近にあった商店街が、わずか数十年で失われるという信じ難い現象は、全国で数多く起きています。

現に、福智町でも「赤池商店街」と伊方の「八幡町商店街」は数店を残すのみで、かつての「商店街」としての姿は見られなくなってしまう。商店街の消滅は急に起こるのではなく、十年以上の期間をかけて、一店また一店と閉店し「どうとう開いている店がほとんどなくなった」という現象が大半を占めます。

存続の危機に直面

金田商店街でもここ数年で老舗店の廃業・撤退が相次ぎ、現在営業している商店（新町・本町・敷島町）はおよそ55軒。



かつて350軒を超えていた全盛期の数に比べ、7分の1近くまで減少してしまっていました。

4年前に閉店した「暮らしの店ミムラ」は、創業100年以上の歴史を誇る老舗店。その三村和子さんは「わたしが結婚して来た50年ほど前に比べると、街もずいぶん寂しくなりました。6年前の『創業百年大売出し』で、みなさまに恩返しできたことが何よりの喜びです」と振り返ります。

この金田商店街を代表する老舗店の閉店は、各店に衝撃を与えました。



創業百年大売出しの思い出を語る三村 和子さん

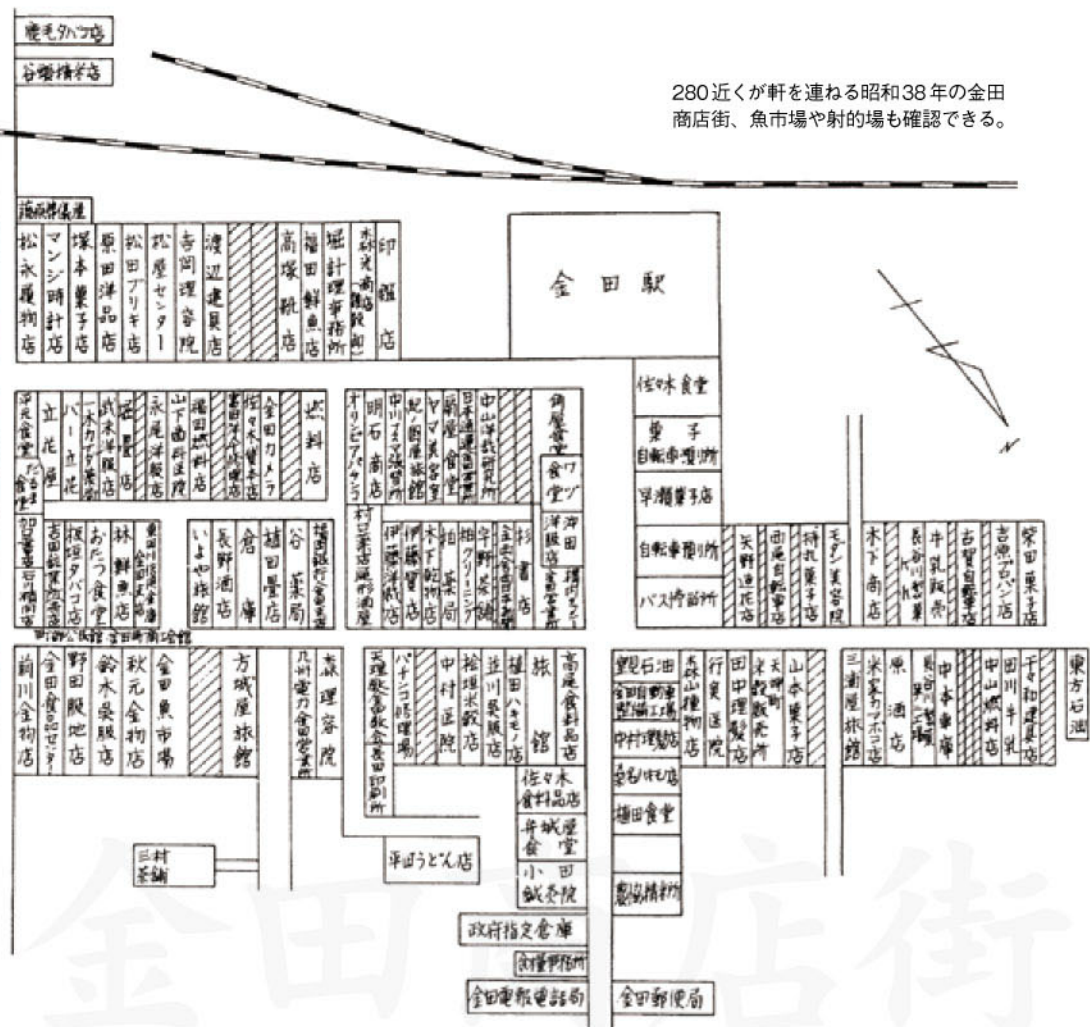
この町に唯一残る金田商店街で、現在抱える課題や店主の高齢化、後継者難などをふまえて今後10年を試算すると、その数は現在の3分の2、半分になると予想されています。金田商店街はまさに今、縮小が続く危機に直面しているのです。



幼いころ心躍らせた風景がいつの間にかなくなってしまう...
町にあった2つの商店街はひっそりと姿を消した。
唯一残る金田商店街も、いずれ姿を消してしまうのだろうか。

七分の一になつた街

280近くが軒を連ねる昭和38年の金田商店街、魚市場や射的場も確認できる。



商店街とともに歴史を刻む 山本園の古時計

山本園の店内にある古時計は、10年前に一度止まりましたが、かつて商店街が再興したように、故障を克服して今も現役。金田商店街とともに、100年近くの時を刻み続けています。

街を取り巻いてきた壁

近年、商店街を取り巻く環境は激変しています。たとえば自分自身に置き換えてみても、ここ数十年で買い物の形態が変わってきたことに気付くのではないのでしょうか。

では、どうして地域を支えてきた商店街が縮小傾向にあるのか。そこにはいくつかの要因があります。

まず、近隣の郊外にいくつもの大型ショッピングセンターが現れ、圧倒的な品ぞろえと価格競争力で打撃を与えたこと。組織的な戦略や効率化には、商店街の個人経営店では太刀打ちできません。また、営業時間や手軽さなどの利便性でいえば、相次いでオープンしたコンビニエンスストアに対抗できません。さらに、車社会の進展で郊外のショッピングセンターへのアクセスが快適になり、消費者ニーズも多様化。加えて、町の人口減少、店主の高齢化や後継者不足、情報の発信不足なども原因に挙げられます。

一方、商店街では、空き店舗の増加により商業集積機能も低下し、魅力が半減。消費者は大規模店の安い物に慣れてしまい、ますます商店街に人が来なくなるという悪循環につながっています。

強さを秘めた地域一番店

残念ながら町内では2つの商店街が姿を消してしまいましたが、全国チェーンの大型店舗の進出で、同じ性格の買い物なら圧倒的に不利な激しい競争にさらされながらも、金田商店街はその機能と姿を留めています。このことは金田商店街が持つ「固有の強さ」があることを物語っています。

かつて「地域で一番の店の集まりだった商店街。当時、買い物といえば、商店街のそれぞれの専門店であるのが当たり前でした。洋服・靴・眼鏡・時計など、自分好みのお店があり、食材に関しては地元の八百屋・魚屋・肉屋で誰もが買求めていました。

そういった昔からずっとここにあり続ける商店は「地域で一番の店」として君臨するだけの強い力を宿しています。時代にあわせて努力し、こだわる点は一切譲らず「この商品に関してはあの店でなければ」という強烈な存在感と信頼を誇っているのです。

このようなお店の存在こそが商店街の強みであり、その貴重で個性的な経営理念は、商店街の将来あるべき姿や街が生き残っていくための方向性を示しています。



明治鉱業と赤池駅とともに歩んできた赤池商店街。かつて地域に密着し、繁栄を誇ったこの商店街もひっそりと姿を消していった。

顔の見える安心と信頼が魅力



大坪 純子さん
(金田 宝見)

商店では産地をはじめ、仕入れた人や売る人の顔が分かるので、安心して買い物ができます。消費者の要望が直接届きやすいのも大きな魅力です。

気さくな会話が役に立つ



田中 豊さん
(神崎 福丸)

経験豊富な店主のオススメを買えば、まず間違いはない。毎日の食材は必ず金田商店街で買います。旬や調理法も聞けるのですごく助かりますね。

街の声 interview in 金田商店街

昔から変わらない心と場所



山中 江利子さん
(上野 原田)

金田で育ちましたが、店内でのふれあいやちょっとしたオマケなど、商店街のあたたかさは昔から少しも変わっていません。訪れるとほっとする場所です。

元気ももらえる癒しの空間



松本 恵美子さん
(伊方 野添)

5年前、仕事帰りに店主から「お疲れさま」と声をかけられ元気をもらいました。以来、ここを利用しています。車で来ても特に不便さは感じませんよ。

金田商店街のらしさに期待



小畑さんご家族
(宗像市)

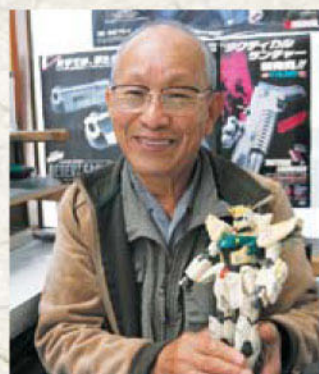
平成筑豊鉄道で初めて金田商店街に来ました。駅から近くて便利なので「ここならでは」のお土産や食べ物があれば、もっと人が訪れると感じました。

商店街が大規模店のスケールメリットに対抗できない部分もありますが、逆に小さな商店だからこそできることもあります。信頼のできる商品提供は、その中の大切な要素。「顔の見える商店街」に並ぶ品物には「安心」という付加価値が大きな魅力です。

長年の商売経験とつながりを持つ個人商店は、大量生産・大量販売・価格競争などの環境ではできない、昔ながらの安全で安心な商品をそろえる力があります。お店に行けば必ずその商品のプロがいて、最高の品ぞろえをする。ラジカセのテープの声とは違う、あたたかい心をかよわせる空間がそこにはあります。

なじみの店員と会話がはずむ、心が通じ合う、生きた情報がある商店街は「人と心のつながりの拠点」として、お金では買えない豊かさをもたらす大切な存在意義を担っているのです。

店を閉じようとする今、あらためて感じます。商店街にしかない「つながり」の大切さ。



木村喜一郎さん

子どもたちを見つめた35年
夢が並んだ
木村模型店



「ガンダムブームのころ。まだ携帯もパソコンも無い時代ですが、子どもたちは物を作る喜びにあふれ、目を輝かせていました」と振り返る木村さん。今年、在庫を限りに閉店することを決めました。

高度経済成長後の社会は便利な物であふれ、それを映すように子どもを取り巻く環境を変えました。親は子守りをテレビやゲームに任せきり。子どもは一人無言で画面とにらめっこ。人とも接さず、対話もなく、人間関係は希薄化していくばかり。その影響が、いじめや引きこもり、犯罪の低年齢化などにも現れています。

「今は便利すぎる世の中ですが『お金や物があるだけが幸せではない』ことを子どもたちに知ってほしい」と話す木村さん。地域ではつながりの元となる家庭のふれあいが失われつつあります。

「うちは小さな店だからこそお客さんと向き合うことができ、その一人ひとりに支えられ、ここまでできました。わたしは店を閉めますが、そういった商店街にしかない『つながり』は、これからも大切に残してほしいと願っています」。

子どもたちに多くの夢を与えてきた木村模型店。わたしたちが忘れてしまいうな、忘れてはならないものがたくさん詰まった商店街の一角で、また一つのお店が歴史を閉じます。



下りたシャッターが目立ってきた金田商店街。市場原理に任せたま、ただ傍観するだけでは、いずれ街の灯は消えてしまう。商店街を失うことは、わたしたちの豊かな未来への可能性を閉じてしまうことにもつながっている。

来るべき時代を読む

近い将来、商店街が今以上に必要となる時代がやって来ます。平成19年、

日常生活の一部だった商店街では、わたしたちが知らない間に、下りてしまったシャッターが目立ってきました。取り返しのつかないことになる前に、わたしたちは今「なぜ商店街が必要か」という問題を改めて見つめなおし、自分自身もかわる課題としてとらえる必要があるのではないのでしょうか。

血の通った商店街

社会や地域とのつながりがなければ、人は心から衰えていきます。平成筑豊鉄道や福祉バスなどの公共交通手段を活用すれば利用できる金田商店街は、町内の交通弱者にとって大きな味方。特に高齢者にとっては最も身近な「社会」です。そんな街がそばにあるという安心感をはじめ、ふれあいと信頼をはぐくんでくれる「人の血が通った商店街」が町内にあるという環境は、今後どうしても必要です。

シャッターが意味するもの

商店街は、観光地などと同じ地域資源であると同時に、町を形作る重要な要素の一つ。地域コミュニティの基盤となる存在です。その商店街がなくなるということは、単なる商店だけの問題ではありません。町にとっては大きなダメージ低下につながり、地域にとっては生活や心のよりどころを失うことになりま。そして、わたしたちにとっては、今の生活だけでなく、大きな将来性をなくしてしまうことにつながっているのです。

日常生活の一部だった商店街では、わたしたちが知らない間に、下りてしまったシャッターが目立ってきました。取り返しのつかないことになる前に、わたしたちは今「なぜ商店街が必要か」という問題を改めて見つめなおし、自分自身もかわる課題としてとらえる必要があるのではないのでしょうか。

20年と、日本の人口は初の2年連続の減少を記録。福岡市の人口も現在の2万5千人から、およそ20年後には2万人にまで減少すると予想され、高齢化率は39%、住民の約2.5人に1人が高齢者になる地域社会が目前に迫っているのです。そんな来るべき時代に必要な地域やライフスタイルのあり方を考えたとき、団塊世代が高齢化をむかえるこれからの長寿社会で、商店街は不可欠な存在となっていくます。

なぜ今商店街なのか

必需 あなたと街のこれから

失えない理由がある。この街にしか果たせない大切な役割がある。いま、手放そうとしているものは何なのか。わたしたちと未来の商店街との関係を探る。





商店街再興への転換点

どこにでもあるものではなく、ここにしかないもの。
「らしさ」を生かした点(店)を面(街)へと広げていく。
時代のニーズを踏まえ、次代への可能性を求めて…
街の再興に向け、これからのあるべき姿を追う。

Kenji Suyama



←店主の経営相談に親身にアドバイスする陶山さん

「消費型社会」から「循環型地域」へ / 福智町商工会経営指導員 陶山 賢二さん

商店街を取り巻く環境が非常に厳しい中で、こうすればよくなくという特効薬はありません。商店・住民・行政が商店街の価値を認識し、同じ方向を向いて、自分たちのまちづくりを進めていくことが必要です。かつて商店街は地域経済が循環する原動力としてのポンプ役を果たしていました。しかし今は大規模店が地域の所得を地域外へと吸い出しています。大量生産・大量消費・大量廃棄という「消費型社会」を「循環型社会」へ転換することが、今後求められる社会の方向性です。地元で仕入れ、売り上げが地元にとどまり、地元で使われる…。「地域内循環」は、経済と活力の両面で最も理想的な姿です。このような新しい地域の姿を地域とともに、地元根付いたまちづくりによって目指していくことが、今後の地域経済の発展と商店街再興のカギを握っています。

Hitoshi Uno



→お茶の香りと笑顔を届ける宇野さん(宇野茶舗)

魅力のオンリーワン店を目指して / 福智町商工会商業部会長 宇野 等さん

先人から受け継いだ商店街を守っていくには、これからの時代、きれいなことではやっていけませんし、あきらめてしまえばそれまでです。他人任せにせず、自分たちの街を再生させる。自分たち次第で再生できる。という強い信念で取り組む必要があります。魅力ある商店街には、魅力ある店舗が不可欠です。これからは個性が求められる時代。接客や品ぞろえなど、この店にしかないという「オンリーワン性」で生き抜かなければなりません。また、商店街は身近な地域のライフスタイルがつかみやすいので、ターゲットやコンセプトもより明確になります。そのような「個性」と「利点」を前面に出すことで商店の魅力も飛躍的に向上します。「オンリーワン店」が「点」でなく「面」となって集まれば、きっと金田商店街は生まれ変わると信じています。

Shigeki Hidari



←配達で他店の品もそろえる左さん(ライブヒダリ)

サービスを商品に加えた真の「個」売り業で / ASネット会長 左 重喜さん

地域商店のメリットは、住民ニーズに柔軟に答えられること。小売業は「個」に対して売る「個売り業」としての強さがあります。特に高齢者は価格だけではなく、アフターサービスも含めてお店を選んでいただける傾向が強くなっています。人手をかけた低コストの流通とは違い、地域商店はサービスを商品に加えて満足を得るという、大型店にはできない魅力を持っています。かつての赤池商店街としての姿はなくなりましたが、平成3年に発足した「ASネット」では、電話一本で加盟店内の商品を届ける「動く商店街」としてのサービスを続け、地域のみならずに喜んでいただいています。地域商店は「個に売る」原点に立ち、目先の利益重視でなく、地域のみなさんの必要とすることを地道に実現していく小さな積み重ねが大切なのだと思います。

失った街は二度と戻らない

商店街の再生を目指すうえで、見失ってはならないのが「商店街らしさ」を壊さないこと。商店街ならではの地域性や風情を守り、それぞれの店が持つ個性と商店街にしかない魅力を最大限に引き出していくことが大切です。

商店街という存在をなくしてしまつた地域は、失つた後に、なくしたものの大きさに気づきます。失つた街はもう二度と戻ることはありません。商店街は財産であり貴重な資源だという観点と、歩んできた歴史やそこに詰まった人々の想いも含めて「失つてはならない街」なのだという意識を商店と住民が共有しなければ、街の灯を再燃することはできません。

新しい豊かさの先へ

人とのつながりの再構築による地域

金田商店街の年の瀬の伝統行事として受け継がれている「金田恵比寿祭り」。毎年12月2日から2日間、金田商店街近くの金田菅原神社境内で開かれます。今年一年の感謝の気持ちを込めて、主催者と来場者が互いに「打ち込み」で繁栄を祈願。商売繁盛にとどまらず地域の発展と家内安全を願ったこの行事は、商店街と地域の心のつながりを映し出しています。

・金田系びす



願いを込めた打ち込み

●政策の柱となる商店街活性化

「商店街の活性化」は、国や地方自治体の商業政策の柱の一つに位置づけられています。政府与党が政策項目に「中心市街地・商店街の活性化」を掲げるほか、経済産業省および中小企業庁は、全国の商店街の苦境と地域住民から寄せられる「地域コミュニティの担い手」としての期待の高まりを踏まえ、商店街の意欲ある取り組みを支援する措置を抜本的に拡充する方針を打ち出しています。今年7月には「地域商店街活性化法」が成立。9月に答申された福智町まちづくり計画

(総合計画)の実施計画の中でも「活力ある商店街」について項目化され、現状と目標が盛り込まれています。

「ASネット」の配達サービスではケースに応じて電球の取り換えなども行っている。加盟8店舗が食材から家電まで多種の商品を一度に配達する画期的なシステムで地域に定着。高齢者世帯をはじめ、子育て世帯のニーズも満たし、将来さらなる需要が予想されている。

今ある商店街を経済的価値の次に来る「新しい価値観をばぐむ場所」「人生の豊かさを感じさせてくれる場所」として、この町で暮らす誰もが認識し、行動に移すとき、そこに、かけがえのない「つながり」が生まれるはずだ。



「おかえりなさい」招店街へ



時代が変わっても変わらないものがこの街にある。
大切なものほどさりげなく、ずっと変わらずそばにある。
そのはかなさと大切さに気づきはじめた今、
「つながり」をつなぐために、わたしたちができること…

つなぐ、つながる。

全盛期の活気はないけれど、この街のひたむきさやあたたかさは、今も決して失われてはいません。時は人の暮らしを変えていきましたが、商店街には変わらない心が残されています。

わたしたちは、便利で、効率的で、かつこ良く、新しいものに心を奪われてきました。身の回りが物であふれる中で、社会とのかかわりが億劫になり、やがて地域や人間関係も希薄になっていきました。

そして近年「協働」や「環境」という言葉が声高に叫ばれるようになり、社会全体が見失ってしまったものの大きさ、地域や人と人との「つながり」の大切さによりやく気付いてきたのです。

わたしたちの商店街がなくなるといことは、単に一つの街が消滅するだけでなく、わたしたちが「地域」と「つながり」を失ってしまうことを意味しています。

その「つながり」をつなぎ止めるのは、まだ間に合う「今」しかありません。

商店街を再興するのは難しいことかもしれません。商店と住民、地域と行政が同じ方向を向いて取り組まなければ、街の衰退は止められないでしょう。

しかし、わたしたちの意識次第で、このすばらしい財産を次代へつなぐことは可能です。物はお金で買えるけれど「通じ合う心」に価格が付けられません。

いま、わたしたちが失いかけて再び確信した「つながり」の大切さ。その「心のつながり」を少しずつ積み上げていくことは、今からでも決して遅くはないのです。

それにはまず一人ひとりが商店街に目を向けること。その見守るまなざしが商店街をより身近にし、町と地域とわたしたちの「これから」へとつなげていきます。将来、新たに作り上げた心の豊かさを実感する日が、きっと来るはずです。

街が人を招き、店がふれあい招き、人がつながりを招く。わたしたちの小さな意識転換は、すべて「街」と「未来」と「自分」につながっています。

特集 招店街

【資料提供】 荒牧直純さん／植田辰生さん／植田久稔さん／宇野等さん／香月久生さん／桑野武平さん／竹崎昇造さん／谷口秀樹さん／羽田野憲治さん／松田哲幸さん／松若光子さん／三村貢作さん／柳澤勝美さん／矢野義隆さん／山本五男さん／吉田直史さん(五十音順)

お知らせ

農産物直売所の歳末大売り出し

新年を迎える準備は町内の農産物直売所で

問 福智町役場 産業振興課 農業林務係 ☎ 22-7767

【上野の里ふれあい市】

〒 福智町上野 2811 番地 1

休業日

12月31日(金)～1月6日(水)

▶ 歳末大売り出し 12月26日(土)～30日(金) 12:00まで

▶ もちつき 12月27日(土) 10:00～

▶ 正月用もち注文受付期限 12月28日(日)

注文：受け取りたい日の2日前までに、ふれあい市に電話(☎ 28-2017)または直接ご注文ください。

料金：500g 500円(もち米持参の場合は3kg 1,800円)

※ もち米を持参する場合は3kg単位をお願いします。

※ あんもちの場合はあんこ代を別に1個25円いただきます。

※ 鏡もち(大・中・小)など、ご希望に応じます。

【カナダふれあい朝市】

〒 福智町金田 841 番地 16

休業日

12月27日(日)～1月5日(日)

▶ 正月用もち注文受付期限 12月16日(金) 12:00まで

注文：ふれあい朝市または役場産業振興課で、直接ご注文ください。電話不可。

料金：1kg 1,000円(もち米持参の場合は1kg 600円)

受け取り日時：12月26日(土) 7:30～12:00

※ 種類は小もちと重ねもち(大・中・小)です。

【方城特産館ふくちの郷】

〒 福智町弁城 1320 番地

休業日

12月31日(金)～1月4日(月)

※ おもち、しめ縄など正月用品を取りそろえております。

※ 12月30日(金)は16:00まで、1月5日(火)は12:00からの営業。

お知らせ

ごみ・し尿収集のお休み期間

忙しい中でもご確認を年末年始の収集休業

問 福智町役場 住民課 環境衛生係 ☎ 22-7761

年末年始は、ごみ・し尿の収集業務が次の期間休止されます。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

ごみ・し尿収集のお休み期間

12月30日(金)～平成22年1月3日(日)

参加募集

日王山初日の出登山

一年の幕開けを山頂で日王山で拝すご来光

問 ふれあい塾を支える会 竹宗会長 ☎ 090-1342-6345



← 四圍さまたげるものがない見晴らしから「初日の出」を拝んでみませんか。

元旦の日の出前にスタートし、日王山(神崎)の山頂を目指す「初日の出登山」。標高は約200mで、高齢者やお子さんも参加できます。下山後にはソバ、ぜんざい、宝くじ、記念品などをご用意。なお雨天などによる中止は、前日の夜8時ごろに決定しますのでご確認ください。

▶ 日時 平成22年1月1日(祝) ▶ 集合 5:30 ▶ 出発 6:00

▶ 集合場所 ふれあい塾キャンプ場(☎ 22-5400)

▶ 持参する物 懐中電灯、登山向きの靴、手袋

▶ 主催 福智町・ふれあい塾をささえる会

お知らせ

緊急雇用創出事業臨時職員募集

緊急雇用創出による臨時職員を募集します

問 福智町役場 企画課 企画観光係 ☎ 22-7766

町では、雇用情勢悪化に伴う失業者支援策として、緊急雇用創出事業を活用し、臨時職員を募集します。

▶ 業務内容 役場での一般事務および現業業務補助

▶ 募集人員 町内在住者 5 人(採用方法：面接)

▶ 雇用期間 平成22年1月5日～(6か月以内)

▶ 申込期間 12月7日(日)～21日(日)(平日の8:30～17:15)

▶ 申込方法 履歴書を役場総務課人事係(本庁3階)まで提出してください。



お知らせ

平成21年度「福智町成人式」

人生の門出を祝福平成生まれの新成人へ

問 福智町教育委員会 生涯学習係 ☎ 28-2046



← 町を挙げて新成人を祝福します。旧交をあたため、一生に残る思い出を！

新 成人の新たな門出を祝福する福智町成人式。転出などで町外に住民票がある人もぜひご参加ください。

▶ 日時 平成22年1月11日(祝) ▶ 受付 9:00～ ▶ 開式 10:00

▶ 場所 福智町地域交流センター(伊方4478番地1)

▶ 対象 平成元年4月2日～平成2年4月1日生まれ

言葉と音楽による記念公演 出演 ▶ fucchiE(フッチー)

生活場面からメッセージをすくい上げ、表情のある声で歌い上げるシンガーソングライター。全国ツアーをはじめ、訪問ライブなどで活躍中。昭和56年、北九州市小倉生まれ、北海道千歳市育ち。福岡県立大学卒業。



イベント

第4回 福智町わたしの主張大会

各校代表の力強い声に耳を傾ける一日

問 福智町教育委員会 生涯学習係 ☎ 28-2046

町内8校の代表者が、感じたことや学んだことなど、日常で培った視点を力強く発表します。子どもたちの思いを込めた主張に、ぜひ耳を傾けてみてください。

▶ 日時 12月13日(日) ▶ 受付 9:00～ ▶ 開会 9:30

▶ 場所 公民館金田分館 入場無料

▶ 主催 福智町青少年育成町民会議(家庭部会)

【各校からの代表発表予定者】

① 天江由莉奈さん(金田小6年)

② 香月 海優さん(弁城小6年)

③ 田口 大成くん(上野小6年)

④ 帯山 未来さん(伊方小6年)

⑤ 太田 純菜さん(市場小6年)

⑥ 平戸 祐大くん(赤池中2年)

⑦ 井上 悠さん(金田中2年)

⑧ 小野 太智くん(方城中2年)



← 最優秀賞は、田川大会に出場します。

参加募集

少年のバス申込期間▶12月7日(日)～11日(金)

一面白銀の世界へ心ときめく少年のバス

問 福智町教育委員会 生涯学習係 ☎ 28-2046



← スキー研修では、プロのインストラクターが、基礎から丁寧に指導します。

福 智町では見られない一面の銀世界が広がる広島県の大自然を舞台に、子どもたちが集団生活をおして生きる力を培いながら、スキーに挑戦します。

▶ 期間 平成22年1月29日(金)～31日(日)(2泊3日)

初日は20:00集合／21:00出発(車中泊)

※ 1月16日(土)・17日(日)の事前研修にもご参加ください。

▶ 場所 広島県山県郡安芸太田町「ホワイトバレー松原」

広島県青少年野外活動センター「こども村」宿泊

▶ 対象 町内の小学6年生～中学2年生

▶ 定員 40人(先着順で定員になり次第締め切ります)

▶ 申込期間 12月7日(日)～11日(金)(8:30～17:15)

▶ 参加費 1人6,000円(レンタル料は個人負担)

※ レンタルスキー(4,000円)、手袋(500円)、ウェア(小3,000円／中5,000円)は別途個人負担。

▶ 主催 福智町青少年育成町民会議(研修部会)

▶ 申し込み先 教育委員会 生涯学習係(電話受付不可)

※ 詳細は学校をとおして配布するチラシをご覧ください。

お知らせ

ふじ湯の里と日王の湯の休館と営業時間

年末年始も豊富な湯でお待ちしています

問 ふじ湯の里 ☎ 22-6667 / 日王の湯 ☎ 48-3333

泉 質が自慢の2つの施設、ふじ湯の里と日王の湯の休館日と1月1日～3日の営業時間をお知らせします。

【ほうじょう温泉 ふじ湯の里】

▶ 休館日 12月21日(日)、1月18日(日)

▶ 営業時間 10:00～22:00(通常どおり)

【ふるさと交流館 日王の湯】

▶ 休館日 12月31日(金)

▶ 営業時間 10:00～21:00(1月1日～3日は短縮営業)

※ 4日(土)からは通常営業(10:00～22:00)。





演奏

ふれあいコンサート

それぞれの団体が歌声と演奏を調和させて、ぴったりと息の合ったステージをつないでいきました。



展示

作品展示&バザー

町のアーティストの自信作が一堂に会した展示会場。家族や友人の作品鑑賞は新たな発見の連続でした。



熱気あふれる会場で、観客の目にまぶしく映った演目の数々。今日までひたむきに磨いてきた日ごろの成果が一堂に会し、年に一度の晴れ舞台に、客席から惜しめない拍手が送られました。

おおよそ4千点もの作品が2つの会場を飾った作品展示では、さりげなく心に安らぎを与える作品から、アツと言わせる存在感で驚かせる作品まで、多彩な力作が勢ぞろい。夢のある工作、迫力の書や表情豊かな絵画、凛とした生け花、個性的な工芸、心を映した詩、丹精込めて育てた花、そして瞬間を切り取った写真などなど、バラエティー豊かな作品がズラリと並びました。来場者は、作り手の心と感性が込められた作品に足を止め、それぞれが感嘆の声とともに見入っていました。

展示会場の一角ではお茶席が用意され、安らぎの空間を演出。伝統の作法にならったお手前のおもてなしに、訪れた人は一服のお茶を楽しんでいました。また、周辺は露店やバザーなどでもにぎわい、バナナのたき売りも催され、文化祭に花を添えました。

謡曲発表や開幕大会を含めて、3週間に渡った町の文化の祭典。それぞれの会場で繰り広げられた町のアーティストの発表は、紅葉が彩る福智山とともに、訪れた人の心を大きな感動で包み込みました。

文化祭の華々しいスタートを一体となった「ふれあいコンサート」で飾った「ふれあいコンサート」。11月1日の地域交流センターは、会場がうつつりするようなステキな歌声に包まれました。昨年から3団体増えた10団体が29曲を披露。想いが込められた演奏の数々が観客の心の奥深くまで響き渡りました。

11月7日からは公民館金田分館と金田体育館で2日間にわたる「作品展示」がスタート。その初日に金田分館の舞台で幕を開けた芸術発表会では、14の団体によるあでやかな舞踊や民俗芸能をはじめ、和を奏でた太鼓や三味線、勇壮な剣舞などが展開されました。

町のアーティストたちの表現が共演のステージで一つになった。福智の秋を彩る、小さな町の大舞台。

文化祭の華々しいスタートを一体となった「ふれあいコンサート」で飾った「ふれあいコンサート」。11月1日の地域交流センターは、会場がうつつりするようなステキな歌声に包まれました。昨年から3団体増えた10団体が29曲を披露。想いが込められた演奏の数々が観客の心の奥深くまで響き渡りました。

年に一度の晴れのステージ、見る人を魅了してやまない感性豊かな作品の数々。3週に渡った福智町文化祭の感動の様子をお届けします。

文化の祭典



舞踊

芸能発表会

磨きぬかれた舞や演奏が舞台を彩った演目の数々、無心で演じるその姿に拍手と歓声が送られました。



町のアーティストたちの表現が共演のステージで一つになった。福智の秋を彩る、小さな町の大舞台。

囲碁

町民囲碁大会

碁盤の上で攻防が展開する頭脳戦の囲碁。次の一手をめぐる静かな戦いが繰り広げられました。



謡曲

謡曲発表会

深い歴史と伝統を感じさせた謡曲の舞台。観世流の重厚な謡曲が響き渡りました。



Population 人のうごき (福智町の人口)

- 人口 25,474人
前月比 - 31人
前年比 - 344人
- 男性 12,055人
女性 13,419人
転入 35人・転出 55人
出生 12人・死亡 23人
- 世帯 11,191世帯
前月比 + 1世帯
前年比 + 22世帯
※平成21年10月末現在(住民基本台帳人口)

お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長
—— 弔電はひかえさせていただいています ——

Tax おさめて安心(税の納期限)

- 国民健康保険税〔6期〕12月25日金納期限です
- 固定資産税〔4期〕12月25日金納期限です

Event テクホー net (近隣の催し)

【添田町】



ビルie Holiday コンサート

平成21年12月22日(火) 入場料 ¥3,000 (前売1,500円)
18:00 開演 / 18:30 開演
会場 添田町オーケストラホール

“世界で最も長く活動を続けている兄弟デュオ”が、40年間の名曲の数々をお届けします。
園 添田町オーケストラホール ☎82-2559

【田川市】石炭・歴史博物館企画展「筑豊いまむかし」
期間：12月13日(日)まで 月曜休館
(田川市石炭・歴史博物館 第2展示室)
筑豊の炭鉱全盛期の様子やボタ山、鉄道、町並みなど懐かしい写真450点を、現在と対比させながらご紹介。記憶をつたい“かつての筑豊”にタイムスリップしてみませんか。
園 田川市石炭・歴史博物館 ☎44-5745

Medical health

保健の掲示板

12月16日から1月15日までの保健事業日程

- 12月16日⑩【7～8か月児健診】
7～8か月児を対象(個人通知します)
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00～14:00
 - 12月25日⑩【健康相談】
健診結果や介護など相談希望者を対象
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:30～15:30
 - 1月13日⑩【4～5か月児健診】
4～5か月児を対象(個人通知します)
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00～14:00
 - 1月13日⑩【乳幼児相談】
2か月児と、身体計測や育児相談などの希望者を対象
[会場] コスモス保健センター [受付] 14:30～15:00
 - 1月14日⑩【ポリオ(小児マヒ)予防接種】
3～18か月児を対象(7歳5か月まで接種可)
[会場] 方城保健センター [受付] 13:20～14:20
- ※金田・方城地区での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターにお問い合わせください。各保健センターなどで、ご希望に応じた予約制の健康相談を実施いたします。
- 「麻しん・風しん予防接種」は接種期間内に受けましょう！
麻しん・風しん予防接種は、期間内であれば無料で受けられます。協力医療機関など、詳しくはお問い合わせください。
接種期間：平成22年3月31日⑩まで
対象：第1期▶生後12か月から24か月未満
第2期▶年長児(小学校入学前年)
第3期▶中学1年生 第4期▶高校3年生
- ☎ コスモス保健センター ☎28-9500

Holiday clinic

【田川地区休日救急医療センター】 年末年始も診療いたします！

診療日：12月31日⑩～平成22年1月3日⑨
受付時間：【外科】9:00～11:30、13:00～16:30
【内科・小児科】上記の時間+18:00～22:30
場所：田川メディカルセンター(田川市石炭・歴史博物館横)
☎ 田川地区休日救急医療センター ☎45-7199



保険証を忘れずに！

子どもの“どもり”気になっていませんか？

言葉がどもることを「吃音」といい、言葉の発達が著しい2歳～5歳の子どもに約5%みられると言われています。ほとんどの場合は自然に治るので、過度に心配して子どもに緊張を与えないよう「吃音」について正しく知っておきましょう。



●ほとんどの場合自然に治る

吃音の症状は主に「ぼ、ぼ、ぼ、ぼ」など言葉の一部を繰り返すもの、「きーのうね」など最初の音を引き伸ばすもの、「……きのうね」など言葉を出さずとしてもつまってしまふものがあり、女の子よりも男の子に多いといわれています。幼児期の吃音は、周囲の人が適切な対応をすれば大部分の子どもは自然に治ってしましますが、吃音の原因はまだ十分に解明されておらず、治療法も確立されていません。

●無理に治そうとしないこと

「もう一度いつてごらん」「ゆっくり言つてごらん」というのは、本人を助けるつもりで言っているつもりでも、本人にとっては「あなたの話し方は良くない」と言われていると感じてしまい、その結果、話すことを嫌がってしまうようになることもあります。周囲の大人は、本人のためと思って無理に治そうとするのではなく、次の4つに気をつけながら、子どもが安心してゆつたりと生活できるよう周囲の環境を整えて自由にしゃべらせ、子どもの自信を育てていくことが大切です。

- ① 吃音を注意したり、言い直させない。
- ② 話は最後までゆつくりと聞いてあげる。
- ③ せかさず、本人が言いたいことを先取りして言わない。

●吃音はひとつの個性

子どもは自分の話し方が違うのを意識したり、友達にからかわれたりして、周囲の大人に相談してくることがあります。そのときは「話したらいいんだね、よく分かってるよ」と応じ、それでいい。吃音でも大丈夫。というメッセージをしっかりと伝えましょう。

④ 吃音のまねをしたり、からかわたりしない。

吃音のことを話題にもしないほうがいい。と誤解している大人は、子どもが相談してきた時にあわてて話をばぐらかしてしまつてことがあります。しかし話を聞いてもらえなかつた子どもは「この話は大人が嫌がるんだ」「言つてはいけないことなんだ」と思つてしまつたり、「言つてはいけないもの(吃音)を持っている自分はダメ」という否定的なイメージを持つてしまつてしまいます。結局、親が気にしないようにと思つて、吃音のことに触れないようにしていることで、子どもはどんどん孤立してしまつてしまいます。

吃音がある人も、教師や弁護士、アナウンサーなど、話すことの多い職業で活躍する人はたくさんいます。吃音は話し方の特徴であり、その人の持つ個性のひとつ。吃音があるうとなかろうと、子どもの良さを認め続けて、自信を育てあげることが大切です。

予約制

どうしても心配になったら…
▶ 専門士の個別相談実施中

コスモス保健センターでは、就学前のお子さんを対象に、言語聴覚士による予約制の個別相談を実施しています。ご希望のかたは保健師までご連絡ください。

☎ コスモス保健センター
☎28-9500



pick up 「学校お助け隊」大募集

「学校お助け隊」で
子どもたちの
学びの向上に
あなたの力を！

「学校お助け隊」とは

“子どもたちの活動を応援したい！”という
意欲のあるみなさんが持つさまざまな技
術、特技、知識、経験を生かして、子どもた
ちの学びを助けるボランティア活動です。
※ 人権と福祉のまちづくり総合計画事業の一環です。
※ 謝金・報償などはありません（交通費程度を支給）。

お助け隊の活動例

地域の歴史伝承・平和学習・人権教育・学
習支援・部活動支援・学校の環境整備など

申込方法

人権同和対策課、ほのぼの館、学校教育
課に用意している「学校お助け隊人材バン
ク登録用紙」にご記入のうえ、平成22年
1月15日 までにお申し込みください。

☎ 教育委員会 学校教育課 ☎ 28-2119

福智町臨時職員募集
福智町では、臨時職員として「老
人ホーム天郷荘（下野）」の支援員
を募集しています。
業務内容 入居者のお世話および
調理業務。
※週1回程度の宿直があります。
募集人員 1人
雇用期間 平成22年1月4日～
申込方法 履歴書を役場総務課人
事係（本庁舎3階）まで
提出してください。
申込期間 12月1日～15日
☎ 福智町役場 総務課 人事係
☎ 22-0555

「こころの健康相談」※要予約
日時 12月8日 10時～
12月25日 14時～
「思春期相談」※要予約
日時 12月10日 13時～13時
☎ 田川保健福祉事務所
☎ 42-90007
軽油免税申請手続き
農業を営む人がトラクターなど
に使用する軽油については、本人
の申請により、軽油引取税が免除
される「免税証」が交付されます。
必ず申請が必要です。12月末
までに「免税証交付申請書」と「耕
作証明書」などを、飯塚・直方県税
事務所まで郵送してください。免
税証の交付日など、くわしくはお
問い合わせください。
郵送先 〒820-0004
飯塚市新立岩8-1
☎ 0948-21-4905

合唱メンバー大募集
4月25日 回にユニバー
のおがたで開催される「夢
フェスティバル山と川のお
る故郷」で、九州交響楽団
の演奏のもと「合唱組曲
福智山讃歌」を共に歌う
メンバーを募集していま
す。歌の好きな人（団体）で
あれば、年齢、経験は問い
ません。興味のある人はぜ
ひご連絡ください。定員に
なり次第締め切ります。
練習場所 直方市中央公民館
練習期間 平成22年1月～4月
参加料 2千円＋チケット3枚
☎ 直方文化連盟事務局
☎ 0949-2602697

工業統計調査にご協力を
製造事業所を対象とした「平成
21年工業統計調査」が行われます。
陸上自衛隊学生募集
平成22年4月からの陸上自衛隊
高等工科学校の生徒を募集します。
資格 平成22年4月1日現在で
15歳以上17歳未満の男子
試験日 平成22年1月23日
試験場所 飯塚研究開発センター
受付期限 平成22年1月8日
☎ 保護者向け学校説明会
日時 12月20日 10時～
場所 飯塚地域事務所
☎ 自衛隊飯塚地域事務所
☎ 0948-2214847

母子寡婦福祉会研修旅行
福智町母子寡婦福祉会が、10月
25日 回に唐津市を訪れました。
年末の交通安全県民運動
福岡県では12月11日～31日
間までの21日間、年末の交通安全
県民運動を実施します。一時の注
意で一生後悔することのないよう、
飲酒運転撲滅と高齢者の交通事故
防止にご協力をお願いします。
へいちくからのお知らせ
年末年始にかけてお酒を飲む機
会が多くなります。お出掛けの際
はぜひ、平成筑豊鉄道などの公共
交通機関をご利用ください。定期
券のほか、グループで使える金額
回数券、一日フリーきっぷなど便
利でお得な切符もあります！
☎ 平成筑豊鉄道 ☎ 22-1000

補聴器相談
① 日時 12月11日 9時～10時
場所 福智町役場 本庁舎
② 日時 12月14日 13時～14時
場所 福智町役場 方城支所
③ 日時 12月14日 15時～16時
場所 福智町役場 赤池支所
☎ 福智町役場 福祉課 福祉係
☎ 22-17763
障害者控除対象者認定書
「障害者に準ずる人」を対象に
「障害者控除対象者認定書」を交付
します。確定申告の時にこの認定
書を提示すると、町県民税や所得
税が課税されている人は、障害者
控除が受けられるようになります。
「障害者に準ずる人」対象者
要介護3～5の認定を受けている
65歳以上で、身体や精神に障害が
あるが、「身体障害者手帳」「療育
手帳」「戦傷病者手帳」などの手帳
の交付を受けていない人。
※申請は、福祉課介護保険係また
は各支所に「介護保険証」「申
請者の身分証明」「印鑑」を持
参してください。
対象年 平成21年分所得税
平成22年度町県民税
※広報ふくち11月号に掲載した対
象年（年度）は誤りです。おわ
びして訂正いたします。
☎ 福智町役場 福祉課 介護保険係
☎ 22-17763

県税事務所の休日開庁
12月6日 回、13日 回は、田川
県税事務所を休日開庁します。
開庁時間 8時30分～17時
☎ 福岡県田川県税事務所
☎ 42-90002
心配ごと相談
12月19日 回は司法書士による
特別相談を実施します。特別相談
は事前予約が必要。相談無料です。
① 日時 12月3日 10時～15時
場所 福智町役場 赤池支所
② 日時 12月10日 10時～15時
場所 公民館 方城分館
③ 日時 12月19日 10時～15時
場所 金田社会福祉センター
☎ 福岡社会福祉協議会
☎ 22-60031
特設人権相談所
「心配ごと相談」にあわせて、人
権擁護委員と法務局職員が人権
相談を実施します。日時や場所は
「心配ごと相談（右記）」をご覧ください。相談は無料です。
☎ 福岡法務局 田川支局
☎ 44-1426

県下一斉無料電話相談
家庭内のもめごとや隣近所との
トラブル、いじめや差別など、ど
んなことでも一人で悩まずお気軽
にお電話ください。人権擁護委員
と法務局職員が無料で相談に応じ
ます。秘密は固く守られます。
日時 12月5日 9時～17時
▼相談電話番号
☎ 0120-5511290
☎ 福岡法務局 田川支局
☎ 44-1426
人権週間講演会
春日市クローバープラザで「人
権週間講演会」が開催されます。
午前中は映画「誰も守ってくれな
い」の上映、午後は作家の佐木隆
三さんと犯罪被害者の遺族を招い
てのパネルシンポジウム、全国中
学生人権作文コンテストの作品発
表など、充実の内容です。この機
会にみなさんで人権について考え
てみませんか。
日時 12月12日 10時～16時
場所 クローバープラザ（春日市）
12月4日 金～10日 木
人権週間

※手話通訳、要約筆記、託児サ
ビスあり（要申込）
☎ 福岡県人権啓発情報センター
☎ 092-584-1271
12月の解放講座
人権の町づくりを目指して、福
智町のほのぼの館では毎回テーマを
変えた「解放講座」を開催してい
ます。参加は無料です。
日時 12月9日 19時～
場所 福智町ほのぼの館
内容 フィルム上映「さらし笛」
☎ ほのぼの館 ☎ 22-6290
「日本年金機構」設立
平成22年1月1日から、社会保
険庁は組織や人員を一新し「日本
年金機構」としてスタートします。
現在の社会保険事務所は新たに
「年金事務所」と名称が変わりま
すが、年金相談などの窓口として
引き続きご利用いただけます。な
お、みなさまに特別な手続きをし
ていただくことは一切ありません。
☎ 直方社会保険事務所
☎ 0949-2210891
子育て支援センター行事
就学前のお子さんと親子で楽し
める行事。すべて10時30分～です。
12月生まれのお子さんが誕生会に
参加される場合はご連絡ください。
なお12月1日 回、4日 回は「幼児
室」でのサロン開放ができません。
① 親子リズム遊び 12月11日 回
② 誕生会 12月18日 回

③ クリスマス会
▼12月22日 回
※クリスマス会に参加
する人は、14日 回までに
ご連絡ください。
※参加は無料です。
☎ 地域子育て支援センター
☎ 22-2401
→クリスマス会ではプレ
ゼントがもらえるかも…
10月の事件・事故発生件数
「事件発生件数 7件」
オートバイ・自転車盗難 1件
車上ねらい 2件
空襲・忍込みなど 4件
「事故発生件数 16件」
死亡 0人 負傷者 23人
11月号のおわびと訂正
広報ふくち11月
号7ページに掲載
された平成20年度
決算報告の「特別
会計」の本文と表に
誤りがありました。
「国民健康保険特別
会計」の「歳入歳出
差引額」が正しくは
「▲5億7486万
円」、「町立診療所
事業特別会計」の
「歳入歳出差引額」
が正しくは「▲2億
167万円」です。
おわびして訂正い
たします。
☎ 福智町役場
財政課 財政係
☎ 22-17771

区分	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	24億7,868万円	30億5,354万円	-5億7,486万円
町立診療所事業特別会計	8億0,816万円	10億0,983万円	-2億0,167万円



↑「秋の日帰り研修バス旅行」で、呼子朝市な
どを満喫。48人が唐津の歴史を学びました。

四季の歌

心映の投句
俳句・短歌教室の詠歌紹介

秋の続き蜜柑は色づきてそのみ明るし夕暮の庭
わが窓をかすめて過ぐる小さき鳥つれそひゆくかふたつの影は
蒼空に引かるる白き飛行機雲たちまちくねり大蛇となりぬ
畑一面こぼれ種咲くコスモスの日暮の風に揺れやまざりき
曼珠沙華墓への道に紅の陽をこぼし咲く彼岸中日

三村 和子
佐竹喜久雄
辻田 幸也
加治 智子
福田 昌

はな・ほのぼのの句会

池田一步選

病窓に朝夕雀小春かな
移り住み正に万点庭紅葉
明るさを取り留めてをり天高し
運動会老いの声にも張りのあり
幟旗小春の風にはためきて
朝夕の寒さ俄かに園通ひ
中秋の空高く澄み心すみ
プレゼントもらって嬉し敬老会
佇めば句碑に師の声身に入みる
一時雨ささうな膝の痛みかな

本島真知子
桑野 園女
井上タミ子
持丸テル子
中西ナルエ
永末 公恵
宇野美奈子
大堀まさる
熊谷カツミ
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

霊山を法螺の音渡る文化の日
秋の暮さびしい時は猫を抱き
吊されて真つ赤が尖る唐辛子
淋しさに友呼ぶ鈴が残る虫
鈴なりと言ふはこの事里の柿
清冽や天領日田の水の秋
木々揺らす風晩秋の里ごころ
裏口に何食はぬ顔十三夜
瓦師の忍者歩きや天高し
木屋の香の行き止まる尼の寺

松岡 萬枝
建部三由紀
日比生利子
永尾喜美江
小川 雪
長副美恵子
迫田 昌子
今井三千代
吉村ヨシ子
花石かほる

方城句会

池田一步選

苔寺の起伏に石露の黄を置きぬ
秋の夜の流星群に糸通す
一作に入魂観たり文化の日
秋深し山路にひそと菜黄の花
熟し柿子供の頃の遠い味
見送りて次の約束後の月
好日の雲も置かざる今朝の冬
陶然と秋の光を背に受けて
紺青の秋の海航くサンフェリー

尾崎 和子
木村 誠一
倉石嘉代子
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冴子
野村 鈴子
藤井耿之介
渡邊 一枝

福智の風

▶幼いころ、手をひかれて通った商店街。20年ぶりに街中を歩きましたが、いつもオマケを楽しみにしていたお店など、思い出の店がいつの間にか姿を消していたことに気づきました。改めて考えると、自分自身もこの街の衰退に加担してしまっていたのだと反省させられます▶忙しい日々を追われ、時間的な余裕だけでなく、心のゆとりまでも持たなくなってしまうがちな現代。そんな中で商店街には、人々が見失いつつある“大切なもの”が、今も変わらず残されています▶広報ふくちNo.48のテーマは「つながり」。一人ひとりが街の歴史やつながりを再確認し、それを絶やさず後世へとつないでいくことが、今を生きるわたしたちの使命なのではないでしょうか。(日吉)

xperience

市場小児童が初めて6泊7日の共同生活にチャレンジ

親元を離れた共同生活から、体験によって生きる力を身につけることを目的とした「通学合宿」が、市場小児童を対象にコスモス保健センターで行われました。46人の応募があり、抽選で1年生から6年生までの18人が参加。10月25日から6泊7日の間、日ごろ親に頼りがちな調理や後片付け、洗濯や掃除などの規則正しい生活を協力して行いました。家族の大切さや人との関わり方を見つめ直した子どもたちは、最終日にひと回りたくましくなった表情を見せ、迎えに来た家族に感謝の気持ちを込めて、自らが調理したカレーを振る舞いました。



福智町通学合宿事業

全国展で上野から4人が入選



国内最大規模の工芸公募展で今回56回目を数える「日本伝統工芸展」に、福智町から熊谷保興さん(熊谷本窯)の「上野肩衝茶入」、田中清山さん(清山窯)の「上野鉄釉肩衝茶入」、渡久兵衛さん(渡窯)の「上野鉄釉櫛目文平水指」、渡仁さん(渡窯)の「上野ヤケ釉壺」が入選しました。陶芸部門に1171点もの応募がある中、厳しい審査を経ての好結果。なかでも渡さん親子は、前回の「日本陶芸展」に続く親子入選を果たしました。今回の全国展で上野から4人が入選し、郷土が誇る伝統的工芸品「上野焼」の卓越した技と美への高い評価が示されました。

traditional craft

タウンピックス & ニュース in FUKUCHI

Public auction

滞納者から差し押さえた物品を販売する「公売会」が10月20日に開催され、福智町も参加しました。これは県と県内の10市8町村合同による初めての試みです。約200人が訪れた会場には、家電・絵画・陶器・貴金属などが並び、反響も上々でした。出品された301点のうち、最終的に186点が売却され、売り上げは約237万円。福智町の物品にもその大半に買い手がつき、滞納町税の解消につながりました。今回、この公売会が開かれたように、滞納すれば大切な財産が差し押さえられかねません。税金は必ず納期限内に納付してください。



県と市町村による合同公売会

徴収のエキスパートが福智町で講演



講演する元福島県税部長の宇月辰志氏

田川地区の行政職員を対象にした意識改革研修が、10月22日に福智町同和対策研修センターで開催されました。国から地方への税源移譲により住民税の滞納額が増え、市町村ではこれまで以上に自主財源の確保が迫られるなか、全国屈指の徴収率を誇る福島県で辣腕を振るってきた宇月辰志氏を講師に招き、公務員の心構えとあるべき姿を学びました。「滞納者の目線ではなく、納期限までにきちんと納めている納税者の目線に立ち、機械的に公平かつ厳しく差し押さえをしなければならない」という言葉に、約200人の参加者は大きくうなずいていました。

workshop

意識改革と滞納整理の実務研修会



金田保育園での昼食風景
撮影者●不明
撮影日●昭和28年ごろ

大正14年創立の金田保育園は、県内で最も古い保育所の一つ。園児数が過去最多の昭和28年ごろ、年長組は約90人(現在の3倍)で、保育士1人で受け持っていたそうです。

昔の写真を探しています!
園企画課広報・広聴係
☎22-7766

第14回 上野焼秋の窯開き 五感で満喫した陶郷上野の魅力

「上野焼秋の窯開き」が10月23日から3日間、ふれあい交流会館と協同組合の16窯元で開催されました。テレビや新聞で取り上げられた影響もあり、3日間で7千人が来場。参加窯元の新作披露のほか、ふれあい市では名物の猪汁300食^{ししじゅう}が無料で振る舞われ、秋の上野路で掘り出し物を求めた陶芸ファンは、窯元めぐりと郷土料理を同時に楽しんでいました。



↑ お目当ての品を見つけた陶芸ファン、福岡市からのバスツアーも好評でした。

↓ 手に汗握ったスタートの数秒、保護者たちが見守る沿道にも緊張が走りました。



第4回 福智町ふれあいマラソン大会 寒風と声援を背に河川敷を駆け抜けて

福智町子育て連主催のふれあいマラソン大会が11月15日に彦山川・中元寺川合流点河川敷で開催されました。町内の小中学生86人が参加し、学年や男女に分かれた8部門で健脚を競いました。沿道からの温かい声援を背に、寒風を受けながらも全力で河川敷を駆け抜けた選手たち。息を切らして一心にゴールを目指すその姿に、大きな拍手が送られました。

ちくまる農園収穫祭 初収穫で響いた園児たちの歓声

金田駅構内の遊休地を利用して整備された「ちくまる農園」が初めての収穫を迎えました。苗を植えた金田保育園の園児56人が10月20日に招かれ、約260㎡の農園から軽トラック1台分のサツマイモを収穫しました。「駅員さんのおかげでこんなにたくさんとれた」と園児たちは大喜び。今年、小さな心をはずませた農園は、来年度さらに拡充される予定です。



↑ 線路沿いにある農園、晴れ渡った空に園児たちのにぎやかな声が響きました。

↓ 10年後に資格を得る八段審査に向け、基本を意識した練習を重ねる中山さん。



中山正和さんが剣道七段に合格 地道な修練で全国審査の難関突破

全日本剣道連盟の剣道七段審査会が福岡市で行われ、中山正和さん(弁城)が見事合格を果たしました。全国から1046人が挑んだ審査で、合格したのはわずか66人。毎朝4時に起床して行橋市で練習を重ね、合格率6.3%という狭き門を3回目の挑戦で突破した中山さんは「後輩の昇段の力になれるよう共に稽古したい」と、後進の育成にも力を注いでいます。

↓ 血のにじむような体験談もユーモアを交えて伝え、元大横綱のスケールの大きさを示した九重親方(左)。



市場小で人権教室 未来への希望と交流で高めた人権意識

「人権の花運動」の本年度指定校となっている市場小で11月10日に「人権教室」が行われました。主催する法務局と人権擁護委員による「手作り紙芝居の読み聞かせ」や、児童たちが栽培したひまわりの種にメッセージを添えて空へと放った「エコ風船飛ばし」が行われ、心と心のふれあいや未来への希望をとおして、子どもたちの人権意識をはぐくみました。



↑ 子どもたちと心を通わせた人権キャラクターの人KENまるくんとあゆみちゃん。

↓ 彦山川と中元寺川の合流点河川敷で「給水」「送水」「放水」の連携を高めた団員。

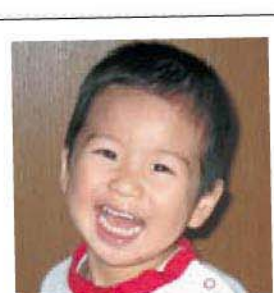


福智町消防団統一訓練 消防魂と技術をつないだ初訓練

福智町消防団で初めてとなる統一訓練が、11月8日に合流点河川敷で行われ、232人の団員と車両16台が出動しました。水利から離れた現場や山林での消火活動を想定した内容で、車両間を迅速にホースで中継。3班に分かれ、無線などで連絡を取りながら、河川合流点から人見橋付近まで最長約600mを7台の車両とホース24本で見事につなぎ、放水しました。



池田 仁尊くん ②
H19.12.17 生 (伊方 前村)



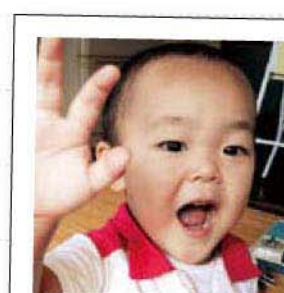
伊藤 柊人くん ②
H19.12.16 生 (上野 葉王寺)



北山 暖道くん ②
H19.12.14 生 (神崎 人見坂)



竹尾 妃萌ちゃん ②
H19.12.6 生 (上野 徳市団地)



馬場 勇伍くん ②
H19.12.3 生 (赤池 ひまわり)



岩下 莉玖くん ①
H20.12.16 生 (伊方 東ヶ丘)



仲谷 菜菜ちゃん ②
H19.12.27 生 (伊方 東古門)



武山 冴鳳くん ②
H19.12.25 生 (金田 高見町)



福本 海人くん ②
H19.12.24 生 (金田 昭和町)



坂木 路唯くん ②
H19.12.24 生 (上野 中里)



早川 怜那ちゃん ②
H19.12.22 生 (赤池 吉ヶ浦)



安方 小春ちゃん ②
H19.12.20 生 (伊方 東区)



田淵 風ちゃん ②
H19.12.19 生 (金田 上金田)



田淵 匠くん ②
H19.12.19 生 (金田 上金田)

笑顔募集中! 😊
誕生日の記念に、お子さんの
笑顔を紙面に飾ってみ
ませんか。締め切りは誕生
月の前月10日ごろ。今
月は1月に誕生日を迎える
満1歳から3歳までのお子
さんの写真を募集します。
12月9日(木)までにお電
話ください。(締切厳守)
▶役場企画課広報担当
☎22-7766



丸山 海くん ③
H18.12.30 生 (金田 上金田)



井戸 光優ちゃん ③
H18.12.22 生 (金田 宝見)



片村 輝くん ③
H18.12.18 生 (金田 宝見)



下口 孔蔵くん ③
H18.12.10 生 (神崎 福吉団地)



井上 榎晟くん ③
H18.12.8 生 (市場 8の3)



日高 穂南ちゃん ③
H18.12.7 生 (赤池 猿田)



中村 常一郎くん ②
H19.12.27 生 (金田 宝見団地)

長年の交通安全推進活動に知事表彰



福岡県交通安全県民大会が
11月11日に福岡市内で開催
され、田川交通安全協会の役
員を務めて27年目の坂元重
正氏(上野)と同じく23年目
の稲富侯氏(弁城)に、福岡県
知事から功労者表彰が贈られ
ました。2人は「地道な活動が認められてうれしい。これを励みに
今後も地域のために尽くしたい」と口をそろえて喜びを語りました。

風のように走り抜けたそよ風マラソン



そよ風保育園(金田)のマラ
ソン大会が11月2日に行われ
ました。1周約70mの園庭
を7周も駆け抜けた年長さん
をはじめ、みんなが元気いっ
ぱいの走りを見せ、およそ80
人の園児たちは、見事全員完
走を果たしました。マラソンを楽しむように走り抜いた園児たちは、
ゴール後、達成感にあふれたすがすがしい表情を浮かべていました。

礼法の総師範が上野小でマナーを伝授



小笠原流礼法総師範の鈴
木万亀子先生が、10月26日に
上野小で礼法を伝えました。
「ただ言葉を発するのではなく
心を伝えるあいさつを意識し
てほしい」と、礼の基本である
「相手を思う心」の大切さを強
調した鈴木先生。礼の知識をはじめ、足がしびれない正座法な
ども紹介され、児童は終始背筋を伸ばして聞き入っていました。

孫と心通わせた第一保育所ようこそ会



孫が通う園で日常の姿に触
れてもらおうと「おいしいちゃん
おばあちゃんようこそ会」
が第一保育所(弁城)で10月
29日に開かれました。歓迎の
出し物や会食をはじめ、ダン
スなどのふれあい遊びで園児
と祖父母100人が心を通わせました。園児から日ごろの感謝を込
めたプレゼントも贈られ、笑顔と感動に包まれた一日となりました。

大人の感性に響いた絵本のつどい



普段絵本と親しむ機会の少
ない大人を対象とした「絵本
のつどい」が10月25日にコ
スモス保健センターで行われ
ました。絵本を読む会「ぶら
んご」が、詩や大型絵本を含
む8作品を披露。オカリナや
ピアノ演奏のプログラムもあり、参加した30人から「心がほっと温
かくなった」「絵本の奥深さを感じた」などの反響が寄せられました。

全国環境学習フェアで赤池中が活動発表



循環型社会を目指して文部
科学省などが主催する「全国
環境学習フェア」が北海道富
良野市で開催され、10月16日
の分科会で赤池中が活動を発
表しました。彦山川と水源の
実態調査や河川敷清掃などの
取り組みをはじめ、花いっぱい町づくりからスタートした生徒の視
点や環境学習の経緯も説明され、会場から高い評価を受けました。

多彩に魅せたコスモスフェスタ



弁城迫の1万1千㎡の敷地
に咲き誇った鮮やかなコス
モス畑で、恒例の「コスモスフ
ェスタ」が10月25日に開かれ
ました。郷土料理の猪汁のほ
か、いも掘りや枝豆取り、米
のすくい取りなどの体験イベ
ントが大人気。評判が口コミで広がり、今年は町外からの来場者も多
く、白やピンクに彩られた畑は、約400人の入出でにぎわいました。

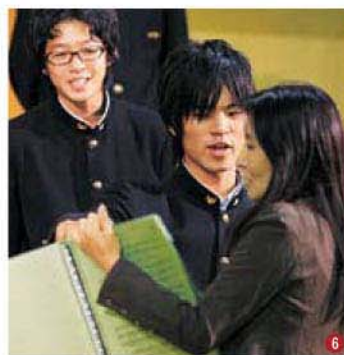
ソバの風味と温もりを伝えたフェスタ



農業総合プロジェクト主催
で今年9回目となる「ソバの花
フェスタ」が、11月1日に見六
公民館で行われました。当日
はあいにくの雨に見舞われま
したが、歌手の和田幸二さん
による歌謡ショーが始まると、
会場は声援が飛び交い、一気にヒートアップ。来場した約300人
は毎年好評の手打ちソバで、冷えた体をしんから温めていました。



11月3日、本番。⑧コンクール全部門終了後、3年生全員で「ギフト」を熱唱。⑨金賞受賞学級の中からグランプリを獲得した3年1組。⑩「時を経てまたこのメンバーで歌いたい」そんな固い絆が生まれた。



夏休みまで個人練習、9月から本格的な練習が始まった。①3年生は1学級24人の3クラス。クラスがそれぞれ3～4のパートに分かれた。②練習期間中、実行委員が4回発行した「合唱新聞」。③男声は「やわらかく優しい声」を出すことに大苦戦。④朝と放課後の練習はもちろん、休み時間や登下校時にも歌声が響いた。



受け継がれる伝統
金田中学校合唱コンクール

未来へ響け、心と絆の合唱

平成10年にはじまって以来、年を追うごとに熱意とレベルが高まり、今や金田中学校を代表する行事となった「合唱コンクール」。
金田中の歌声を本手に、合唱の練習を重ねる高校もあるほど、音楽関係者や近隣の学校からも、その完成度の高さが評価されています。そんな誇りある学校行事に向かって、全力で取り組む3年生の姿を追いました。

伝統と感動を受け継いで

7月初旬に曲を選び、夏休み中は一人ひとりがCDで曲覚え、2学期が始まると、自主練習の歌声が連日校内の至るところから聞こえてくる金田中。この学校では、年のおよそ3分の1が、合唱コンクール一色に染まります。ここまで生徒たちを突き動かすもの、それは何なのでしょう。昨年12月に開催された、福智町わたしの主張大会で、金田中の合唱コンクールのすばらしさを訴えた井塚純さんは「1年前、3年生の合唱を聞いて、これが本当に中学生の合唱なのかと圧倒されました。歌も表情もすべてが完璧。多くの生徒が涙を流しました」と感動を振り返ります。

コンクールでは教育関係者など6人を審査員に招き、声のバランス、ハーモニー、表現力、感動、態度の5項目

歌は一瞬、絆は永遠

先輩の意志を継いだ一人ひとりが、更新の高みを目指し、いつしか「全クラス金賞」が3年生全体の目標になっています。しかし、その道のりは当然険しく、幾重の困難にぶつかっていました。選曲の際「かなり難しいけれど、やり

先輩の意志を継いだ一人ひとりが更新の高みを目指し、いつしか「全クラス金賞」が3年生全体の目標になっています。しかし、その道のりは当然険しく、幾重の困難にぶつかっていました。選曲の際「かなり難しいけれど、やり



コンクール当日、ぼろぼろになったクラスごとの楽譜は長い練習の日々のあかし。

未来へつなぐ誇り

練習の日々をとおして大きく成長した生徒たちは、合唱コンクール当日の

生徒は自分たちの合唱に妥協点を作らず、常に上を目指して練習してきました。それが自信につながり、自分たちの誇りとなっているので、「歌わされている」のではなく、歌を自ら生き生きと表現することができるのだと思います。



担当教諭
河野康世先生

Interview

どのクラスにもドラマがあり、困難を一つひとつ乗り越えながら団結していきました。合唱は、一人では決して作り上げることはできません。だからこそ、一人では得ることできない感動を味わうことができると改めて感じました。



実行委員長
荒川奈都音さん

11月3日、今までのすべての思いを込めた歌声を披露し、来場者3000人の心をふるわせました。結果、3年生は見事「全クラス金賞」の栄光に輝きます。

「全員の心が一つにまとまったのを実感し、歌いながら涙がこみ上げてきました。みんなで最高の合唱を作り上げたことを誇りに思います」と3年1組ブロック長の伏見亮くん。本気で取り組んできたからこそ、得たものも大きいようです。

「一生懸命打ち込むこと」に対して否定的になりがちな年ごろですが、金田中には正しいことを、良いと判断し、実行していく校風が培われています。それは、先輩の努力する姿に真の意味での「かっこよさ」を見だし、正しい判断基準を身につけてきたからに違いありません。

1週間後「感動した」「先輩の歌声を目指したい」といった寄せ書きが、1、2年生から3年生の元に届けられました。金田中の伝統ともいえる合唱は今年も受け継がれ、そのことを誇りに思える土壌が、また新たな芽をはぐくみ、確実にその心と絆を未来へつなげました。



上野橋	道と心の架け橋
と金田大橋	

まちと地域をつなぐ橋



上野地区と赤池地区をつないだ上野橋の開通、総工費は約6億円



▲ 平原田川線道路を川筋の県道とつないだ金田大橋の渡り初め



▲ 山本さんと木村さん 2 組の夫婦 3 世代による上野橋の渡り初め

架

かったばかりの待望の橋が、末永く愛用されることを願って行われる「渡り初め」。神主と親・子・孫の3世代の家族を先頭に、自治体関係者などが最初に橋を渡って祝う祭事です。

昭和54年3月、それまで互いが「川向こう」と呼んでいた上野地区と赤池地区を一本の大きな橋がつなぎました。県道北九州小竹線と連結する彦山川上に「上野橋 (217m)」が架設。その2年後の昭和56年9月には、下田川地区の振興に大きな期待がかかった「金田大橋 (157m)」が誇らしく開通しました。

交通だけでなく、地域と地域、まちと人との架け橋を担ってきたこの2基の橋も30年前後の歳月を経ました。大切な橋だからこそ、その交通量も多く、この度、ジョイント部分の老朽化や舗装修復のため、次のとおり補修工事を行います。工事期間中は交通が規制されます。みなさんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

金田大橋橋梁補修工事・平原田川線道路補修工事

区間▶ 金田大橋および平原田川線道路 (上金田駅～平原幼稚園前まで)

工期▶ 平成 22 年2月初旬～5月下旬

上野橋橋梁補修工事・輝ヶ瀬水落線道路補修工事

区間▶ 上野橋 工期▶ 平成 22 年2月初旬～5月下旬

☎ 福智町役場建設課土木係 ☎ 22-7765

町長日誌

▼ 福智町内では、年間を通してさまざまな行事やイベントが実施されている。その時限りのものもあれば継続して行われている行事もあり、それぞれ取り組みの背景は異なっているが、圧倒的に多いのは後者の方だろう。言うまでもなく、そうした取り組みのすべてに参加することは不可能ではあるが、どなたでも毎年楽しみに待っている「催しごと」はあるのではないかと思う▼ わたしの場合、そのような一つが金田中学校の合唱コンクールである。3年前(町長に就任した平成18年)初めて聞いた時は、中学生でこんなに立派な合唱ができるのだろうか、と、正直ビックリさせられた。全員の視線が指揮者に集中し、全身で歌っている姿に大きな感動を覚えたものである。入退場の態度も整然としていて、実にさわやかだった▼ それ以来、合唱コンクールが開催される時期の到来を、一日千秋の思いで待つようになった。今年も11月3日(文化の日)に行われたが、最初の鮮烈な印象を更に増幅させるすばらしい出来栄であった。生徒たちが主体的に実行委員会を結成し、すべての運営をしていることも、本当に頼もしい限りである。

以前、学校が落ち着いていなかったことから始められたそうだが、その目的は十分に果たされていると思う▼ 「なぜかな」——このことを自らの手で実証して見せた金田中学校の生徒のみなさんには、これからも自信を持って、成長への階段を上って行ってほしいと願っている。

浦田 弘二